



安全データシート Maxiclene 400ml Aerosol

JIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 Maxiclene 400ml Aerosol

製品番号 AMXL400, ZA

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 洗浄剤。

推奨されない用途 特定の勧告用途は確認されていない。

安全データシートの供給者の詳細

供給者 HK WENTWORTH LIMITED
32 RUE DE TOURNENFILS
91540 MENNECY
FRANCE
+33 (0) 1 82 88 47 94
info@af-net.com

製造者 AF INTERNATIONAL
MacDermid Alpha Electronics Solutions
ASHBY PARK
COALFIELD WAY
ASHBY de la ZOUCH
LEICESTERSHIRE. LE65 1JR
UNITED KINGDOM
+44 (0) 1530 419600
+44 (0) 1530 416640
info@af-net.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 緊急コールの場合: +65 3158 1074 (24時間、Carechem 24提供)

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 エアゾール 区分1 - H222、H229

健康有害性 区分外

環境有害性 水生環境有害性 (急性) 区分3 - H402

GHS ラベル要素

絵表示



Maxiclene 400ml Aerosol

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。

H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ。

H402 水生生物に有害。

注意書き

P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P410+P412 日光から遮断すること。 50°C/122°F以上以上の温度にばく露しないこと。

P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

P102 子供の手の届かないところに置くこと。

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

3：組成及び成分情報

混合物

2-Butoxyethanol CAS番号: 111-76-2	1-5%
分類 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 急性毒性 区分4 - H332 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319	
Hydrocarbons, C11-C14, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics CAS番号: 64742-47-8	1-5%
分類 吸引性呼吸器有害性 区分1 - H304	
Propan-2-ol CAS番号: 67-63-0	0.1-1%
分類 引火性液体 区分2 - H225 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H336	

Maxiclene 400ml Aerosol

2-Aminoethanol CAS番号: 141-43-5	0.1-1%
分類 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 急性毒性 区分4 - H332 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 特定標的臓器毒性 (STOT)、単回ばく露区分3 - H335	
Benzyl-C12-14-alkyldimethylammonium chlorides CAS番号: 68424-85-1 Mファクター (慢性) = 10 毒性乗数 (M) (慢性) = 1	<0.1%
分類 急性毒性 区分4 - H302 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400 水生環境有害性 (長期間) 区分1 - H410	
Sodium hydroxide CAS番号: 1310-73-2	<0.1%
分類 皮膚腐食性 区分1A - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

4 : 応急措置

応急措置の説明

一般情報

直ちに医師の手当てを受けること。医療関係者にこの安全データシートを見せること。

吸入

被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。気道を開いた状態に維持すること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。意識のない者は横向きの回復体位に寝かせて呼吸していることを確認すること。

経口摂取

口を水で十分にすすぐこと。小さなコップ数杯分の水または牛乳を飲ませること。嘔吐すると危険な場合があるので被災者が嘔吐しそうになったら止めること。医療関係者の指示がない限り無理に吐かせてはならない。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。意識のない者は横向きの回復体位に寝かせて呼吸していることを確認すること。気道を開いた状態に維持すること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。

皮膚接触

水で洗うこと。

Maxiclene 400ml Aerosol

眼接触 直ちに多量の水で洗うこと。コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。少なくとも10分間洗い続けること。

応急措置をする者の保護 応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

吸入 スプレー/ミストは気道刺激を引き起こすおそれがある。

経口摂取 この製品の物理的な性質により、経口摂取が発生する可能性は低い。

皮膚接触 暴露の繰返しにより皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

眼接触 眼をわずかに刺激するおそれがある。不快感を引き起こすおそれがある。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症候に基づいた処置を行うこと。

5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 製品は可燃性/引火性である。耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。周辺火災に適した消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤 火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 過剰な圧力増大が生じるので、容器は加熱すると激しく破裂または爆発することがある。破裂したエアゾール容器が火災現場から高速で飛び出してくるおそれがある。エアゾール缶が破裂した場合、加圧された内容物と噴霧剤が急速に漏出するので注意しなければならない。蒸気は空気との爆発性混合物を形成するおそれがある。

有害燃焼副産物 熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。

消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。区域から避難すること。水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。漏洩物または流出物に点火していない場合には、水スプレーを使用して蒸気を分散させることにより漏洩を止めている者を保護すること。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。水質汚染のリスクが生じた場合には、管轄官庁に通報すること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。消防士の衣類は化学物質に対して基本レベルの保護を提供する。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 適切に訓練されていない場合または何らかの人的リスクを伴う場合にはいかなる活動も行っってはならない。不要な人員および保護されていない人員を抽出物から遠ざけること。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。この安全データシートに記載されている安全取扱いに関する注意事項に従うこと。流出物の取扱い後は十分洗うこと。緊急時の汚染除去および廃棄の手順および訓練が適切であることを確認すること。流出した物質に触れたりその中に踏み込んだりしないこと。区域から避難すること。爆発のリスク。適切に換気すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。直ちに汚染された全ての衣類を脱ぐこと。

Maxiclene 400ml Aerosol

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

大規模流出：環境汚染（下水道、水路、土壌または大気）が発生した場合には関係官庁に報告すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法

この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。直ちに流出物を片付けて廃棄物を安全に廃棄すること。安全に対処できるなら着火源を除去すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。風上から流出物に近づくこと。通常の取り扱いおよび保管条件下では、エアゾール容器から流出する可能性は低い。エアゾール缶が破裂した場合、加圧された内容物と噴霧剤が急速に漏出するので注意しなければならない。小規模流出：吸収性の布で拭き取り廃棄物を安全に廃棄すること。大規模流出：製品が水溶性の場合には、流出物を水で希釈してぬぐい取ること。別の方法として、または水溶性でない場合には、流出物を不活性の、乾燥した物質に吸収させてから適切な廃棄物処理容器に入れること。汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。流出物の取扱い後は十分洗うこと。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

他の項目の参照

他の項目の参照

個人保護具については、項目8を参照。健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。生態学的危険有害性についての追加情報は、項目12を参照。廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

7：取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置

製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。エアゾール容器の高温または直射日光への暴露を避けること。製品は可燃性/引火性である。熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護具を着用せずに破損した容器を取り扱わないこと。裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。スプレーは蒸発すると急速に冷却するので皮膚に接触すると凍傷または霜焼けを引き起こすおそれがある。眼に入らないようにする。蒸気およびスプレー/ミストの吸入を避けること。

職業衛生全般に関する助言

皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。毎日作業場を出る前に作業服を交換すること。

混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置

混触危険物質（項目10を参照）から遠ざけて保管すること。現地の規則に従って保管すること。酸化性物質、熱および炎から遠ざけておくこと。最初の容器中でのみ保管する。容器を密閉して換気の良い冷所に保管する。容器を立てておくこと。容器が破損しないよう保護すること。日光から遮断すること。熱源の近くに保管したり高温にさらしたりしないこと。50°C / 122°F以上の温度にばく露しないこと。保管設備の周囲に防液堤を築いて流出時の水質汚染および土壌汚染を防止すること。保管区域の床は漏れない、継ぎ目のない非吸収性のものでなければならない。

保管クラス

化学物質の保管。

特定最終用途

特定最終用途

この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

8：ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

職業ばく露限界値

Maxiclene 400ml Aerosol

2-Butoxyethanol

最高容許濃度：20 ppm 97 mg/m³

生殖毒性物質 第2群

Propan-2-ol

最高容許濃度：400 ppm 980 mg/m³

2-Aminoethanol

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 3 ppm 7.5 mg/m³

Sodium hydroxide

最高容許濃度：2 mg/m³

生殖毒性物質 第2群 = ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質

ばく露防止

保護具



適切な設備対策

適切に換気すること。換気または他の管理手段の効果および呼吸用保護具の必要性を判定するために個人、職場環境または生物学的なモニタリングが必要になる場合がある。一次手段として行程囲壁、局所排気装置またはその他の設備対策を使用して労働者の暴露を最小限に抑えること。個人保護装置は設備対策措置で労働者暴露を適切に防止できない場合にのみ使用すること。防止手段の定期的な検査と保守が行われていることを確認すること。労働者が暴露を最小限に抑えるよう訓練されることを確認すること。

眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。リスク評価によりより高度な保護の必要性が指摘された場合を除き、以下の保護具を着用しなければならない：顔面に密着する安全眼鏡。

手の保護

リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手を化学物質から保護するには、手袋はJIS T8116: 2005に適合していなければならない。手袋の製造業者が明記したデータを考慮し、使用中に手袋が保護性を維持しているかを確認して何らかの劣化が認められた場合には直ちに交換すること。頻繁に交換することが推奨される。

その他の皮膚及び身体への保護

リスク評価により皮膚汚染の可能性が示された場合には承認された規格に適合した適切な履物および追加的な保護衣を着用しなければならない。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。装置および作業区域を毎日掃除すること。優良個人衛生手順を実行しなければならない。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。取扱中は飲食禁止および禁煙。産業医による予防医学健診を実施しなければならない。製品のあらゆる危険有害性特性について浄化要員に警告すること。

呼吸器の保護

リスク評価により汚染物質を吸入する可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した呼吸用保護具を着用すること。全ての呼吸用保護具が意図した使用に適していることを確認すること。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。意図した使用に適した吸収缶および防塵機能付き吸収缶を使用しなければならない。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したフルフェイス式呼吸用保護具を使用しなければならない。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

Maxiclene 400ml Aerosol

環境ばく露の防止

使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。

9 : 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	エアゾール。液体。
色	白色。
臭い	特有の臭い。
臭いの閾値	データ無し。
pH	pH (濃厚溶液) : 7-8
融点	データ無し。
初留点及び沸騰範囲	データ無し。
引火点	データ無し。
蒸発速度	データ無し。
蒸発係数	データ無し。
燃焼性 (固体、気体)	データ無し。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データ無し。
その他の燃焼性	データ無し。
蒸気圧	データ無し。
蒸気密度	データ無し。
相対密度	データ無し。
バルク密度	データ無し。
溶解度	データ無し。
分配係数	データ無し。
自己発火温度	データ無し。
分解温度	データ無し。
粘度	データ無し。
爆発特性	爆発性であると考えられない。
酸化特性	酸化性物質の分類基準を満たさない。

10 : 安定性及び反応性

反応性	詳しくはこのセクションの他のサブセクションを参照のこと。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。規定された保管条件下では安定。
危険有害性反応危険性	次の物質は製品と強く反応するおそれがある：酸化剤。
避けるべき条件	エアゾール容器の高温または直射日光への暴露を避けること。高圧容器：熱すると破裂のおそれ。

Maxiclene 400ml Aerosol

混触危険物質

製品と反応して危険有害性状況を生じる可能性のある特定の物質または物質群は無い。

危険有害な分解生成物

推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。

11：有害性情報

有害性情報

急性毒性 - 経口

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（経口LD₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性経口毒性推定値 （ATE）（mg/kg）

18,463.2

急性毒性 - 経皮

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（経皮LD₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性経皮毒性推定値 （ATE）（mg/kg）

40,619.03

急性毒性 - 吸入

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（吸入LC₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性吸入毒性推定値 （ATE）（蒸気mg/l）

406.19

皮膚腐食性 / 刺激性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

動物データ

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

呼吸器感作性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

呼吸器感作性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚感作性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚感作性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖細胞変異原性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

遺伝毒性 - in vitro

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

Maxiclene 400ml Aerosol

IARC発がん性	どの成分も記載されておらず免除もされていない。
<u>生殖毒性</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性 - 生殖能	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性 - 発生	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>特定標的臓器毒性 - 単回ばく露</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	単回暴露後の特定標的臓器毒性には分類されない。
<u>特定標的臓器毒性 - 反復ばく露</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。
<u>吸引性呼吸器有害性</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
吸引性呼吸器有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	スプレー/ミストは気道刺激を引き起こすおそれがある。
経口摂取	この製品の物理的な性質により、経口摂取が発生する可能性は低い。
皮膚接触	暴露の繰返しにより皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。
眼接触	眼をわずかに刺激するおそれがある。 不快感を引き起こすおそれがある。
ばく露経路	経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触
標的臓器	特有の特定標的臓器は知られていない。

12 : 環境影響情報

生態毒性	環境に危険であるとは考えられない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。
毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>急性水生毒性</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>慢性水生毒性</u>	
概要	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>残留性・分解性</u>	
残留性・分解性	製品の分解性は未知である。
<u>生体蓄積性</u>	
生体蓄積性	生体蓄積性について利用可能なデータ無し。
分配係数	データ無し。

Maxiclene 400ml Aerosol

土壤中の移動性

移動性

製品は全ての表面から容易に蒸発する揮発性有機化合物 (VOC) を含む。

他の有害影響

他の有害影響

知られていない。

13 : 廃棄上の注意

廃棄上の注意

一般情報

廃棄物の生成を最小限に抑えるか、可能であれば避けなければならない。可能ならば製品を再使用または再利用すること。この物質および容器は安全な方法で廃棄する。この製品、プロセス溶液、残渣および副産物の廃棄は常に環境保護と廃棄物処理に関する法令の要件および全ての地方管轄当局の要件を遵守して行わなければならない。廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。十分に洗浄もしくは水洗いしていない空容器を取り扱う際には注意を払わなければならない。空の容器または内張りには多少の製品残渣が付着していることがあるため危険有害性の可能性がある。

廃棄方法

排水路に流してはならない。爆発のリスクがあるので空容器は決して穴開けしたり焼却したりしてはならない。余剰製品および再利用できない製品は認可を受けた廃棄物処理請負業者を介して廃棄すること。廃棄物、残渣、空の容器、捨てられた作業着および汚染された浄化材料は指定された容器に集め、内容物を示すラベルを貼らなければならない。

14 : 輸送上の注意

一般事項

包装容量制限/積載量制限情報については、このセクションに示されているデータを用いて関連法文書の要件を検討すること。

国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 1950

国連番号 (IMDG) 1950

国連番号 (ICAO) 1950

品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) AEROSOLS

品名 (国連輸送名) (IMDG) AEROSOLS

品名 (国連輸送名) (ICAO) AEROSOLS

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 2.1

道路輸送/鉄道輸送分類コード 5F

道路輸送/鉄道輸送ラベル 2.1

IMDGクラス 2.1

ICAOクラス / 区分 2.1

輸送ラベル



Maxiclene 400ml Aerosol

容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 None

IMDG容器等級 None

ICAO容器等級 None

海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質
該当せず。

使用者のための特別予防措置

常に直立させて固定した密閉容器で輸送すること。製品を輸送する者が事故発生時または流出時に何をすべきか理解していることを確認すること。

非常措置指針 (EmS) F-D, S-U

MARPOL73/78 附属書II及び
IBCコードによるばら積み輸
送 該当しない。

15 : 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制 GHSに基づく化学品の分類方法JIS Z 7252:2014
GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データ
シート (SDS) JIS Z 7253:2012

Product Type

インベントリー

日本 (化審法)

一部の成分は記載されているかまたは免除されている。
以下の成分は記載されているかまたは免除されている:

2-Butoxyethanol

Sodium hydroxide

2-Aminoethanol

Propan-2-ol

Benzyl-C12-14-alkyldimethylammonium chlorides

Ethanol

16 : その他の情報

Maxiclene 400ml Aerosol

安全性データシートに使用されている略語及び頭文字

IATA: 国際航空運送協会
ICAO: 危険物の航空安全輸送に係る技術指針。
IMDG: 国際海上危険物。
CAS: ケミカルアブストラクツサービス。
ATE: 急性毒性推定値。
LC₅₀: 半数致死濃度。
LD₅₀: 半数致死量。
EC₅₀: 半数影響濃度。
PBT: 難分解、生体蓄積性、毒性物質。
vPvB: 高残留性・高生体蓄積性。

訓練に関する助言

製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。訓練を受けた人員のみがこの物質を使用すること。

発行者

Damian Robertson

改訂日

2021/09/28

改訂版

2.1

SDS番号

203

危険有害性情報の全文

H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ。
H302 飲み込むと有害。
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H312 皮膚に接触すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315 皮膚刺激。
H318 重篤な眼の損傷。
H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H402 水生生物に有害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。